

## 平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

知・徳・体の調和のとれた人間育成を柱とした教育活動を展開し、「入りたい」「入ってよかった」と言われる「元気で活気のある伝統校」をめざす。また、学校から家庭・地域への情報発信や連携による開かれた学校運営を展開し、地域の教育・文化の中心的な役割を果たす学校をめざす。

1. 自らが抱いた「高い志」や「将来の夢」の実現に向け学力向上をめざすとともに幅広い教養を身につけた生徒を育成する。
2. キャリア教育をいっそう推進し、豊かな人間性と社会性を兼ね備え、これからの社会に貢献する多様な人材を育成する。
3. 地域や他の教育機関との連携を密にし、本校が社会に輩出してきた人的資源や地域の社会資源を活用した教育活動を展開する。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

(1) 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、特色ある教育課程の実施。

- ア ビジネス情報コースの授業内容および資格取得への取り組みを充実させ、進路実現に活かせるコースとして発展させる。
- イ 平成 25 年度から導入した教育課程について検証し、生徒の進路実現につながる選択科目の開発と充実に取り組む。

(2) 学習意欲の向上と授業力向上の取り組み

- ア 進路指導部と教務部の連携を密にし、放課後や休業中を活用した応用力育成講習や基礎力定着補習を実施し、学力の向上を図る。
- イ 授業力向上支援チームを組織し、授業公開や教員相互の授業見学、生徒の授業評価アンケートを活用し、全校的な授業力向上に取り組む。

また、習熟度別授業、少人数授業のあり方についても検討する。

\*生徒の授業評価アンケートにおける授業満足度（平成 26 年度 71%）を平成 29 年度には 80%にする。

## 2 自主性および規律ある生徒の育成

(1) 生徒会活動や部活動の活性化を通して自主性を育てる。

- ア 学校行事の活性化に向け生徒の自主的な取り組みを進める。
  - イ 体験入部期間を設けるなど部活動を身近なものとして捉える工夫をする。また、地元中学校との交流を進める。
- \*現在約 45%の部活動加入率を平成 29 年度には 50%以上にする。

(2) 規範意識を醸成し、主体的に規律を守る生徒の育成を目的とした全教職員による生徒指導体制の確立

- ア 遅刻撲滅に向けた取組体制を全教員の共通理解のもと再構築するとともに、家庭との連携協力体制を確立する。
- イ 頭髪・制服指導などの日々生徒と向き合う指導の推進。
- ウ 交通マナー向上の講習会を企画実施する。

\*生徒の年間遅刻総数（H24 6139→H25 4082 →H26 3747）を減少させる。

(3) 教育相談体制の充実

- ア 生徒情報の共有化を進め、全教員がカウンセリングマインドを持って生徒の指導にあたる体制を構築する。
  - イ 支援教育コーディネーターを指名し、個別支援に向けた取り組みを進める。
- \*生徒向け学校教育自己診断における「先生は相談にのってくれる」の肯定的な答えを平成 29 年度には 70%にする。

## 3 「志」や「夢」の実現に向けた指導計画の確立

※旧進路指導室を「学校経営推進費」により進路実現に向けたアクティブラーニングルームとして改設し、就職・進学において生徒の可能性を引き出すサポート機能の充実を図る。

(1) 「総合的な学習の時間」と LHR を活用した総合教育の実施

- ア 入学から卒業までの 3 年間を通じた志学、キャリア教育と人権教育を連動させた生徒育成プログラムを構築する。

(2) 個別の進路希望に応じた指導体制の取り組み

- ア 個人指導カードの作成、活用とパート別指導の実施。
  - イ 個々の進路希望に応じた情報提供を適切かつ迅速に行うとともに、進路実現に向けた取り組みを実践し、成果を上げる。
- \*難関私立大学への合格者（H25 13 名→H26 15 名）を平成 29 年度には 20 名以上にする。

## 4 地域への発信および広報活動の充実

- ア 中学校、保護者、教育関係者を中心に積極的な情報発信および広報活動を行うことで学校理解を図り、地域に根ざした学校づくりを行う。
- イ 生徒参加による学校説明会や中学校訪問等を企画実施し、本校の教育活動のいっそうの理解を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 27 年 1 2 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒の学校教育自己診断項目（抜粋）】</p> <p>学校に行くのが楽しい 73%</p> <p>学校は進路について情報を知らせてくれる 77%</p> <p>（課題）進路個人カードは有効に活用されている 48%</p> <p>⇒ 進路個人カードの利用方法・内容等について改善する</p> <p>【保護者の学校教育自己診断項目（抜粋）】</p> <p>学校の雰囲気はよい 94% 学校は保護者の相談に適切に応じてくれる 90%</p> <p>先生は子どもの評価を適切・公平に行っている 86%</p> <p>（課題）学校の授業参観や学校行事に参加したことがある 52%</p> <p>⇒ 保護者への E メッセージ配信や PTA 活動を通して保護者に対して学校行事への積極的参加を促す</p> <p>【教職員の学校教育自己診断項目（抜粋）】</p> <p>個々の生徒の興味・関心、適性に応じたきめ細かい指導を実施 89%</p>	<p>【第 1 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の態度、教員の対応がよくなってきた。卒業後、本校に誇りが持てるよう育ててほしい。</li> <li>・社会や生徒の質の変化に応じたキャリア教育の構築を考えることが必要である。</li> </ul> <p>【第 2 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の状況を踏まえ、奨学金や進路選択に関する情報提供を適切に行うこと。</li> <li>・適切な進路指導を行うために、生徒の卒業後の状況についても把握に努めるべき。</li> <li>・アンケートについては、数値化できない部分もあるので注意すること。</li> </ul> <p>【第 3 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観や PTA 活動への保護者の参加率、生徒の部活動加入率等を高めていくために工夫が必要。</li> <li>・ある程度の成果が出てきたが、次のステップに進むためには発想の転換が必要。</li> </ul>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価 (➡「来年度に向けて」)
<p>1 確かな学力の育成</p>	<p>(1) 特色ある教育課程の実施 ア ビジネス情報コースの授業内容の充実</p> <p>イ 平成 25 年度導入の教育課程の総括と取組み</p> <p>(2) 学習意欲の向上と授業力向上の取り組み ア 確かな学力を身につけるとともに自己の可能性を知り、学力伸長を追求する生徒の育成</p>	<p>(1) ア・ビジネス情報コースの授業において資格取得に向けた取組みをさらに充実させるとともに H26 資格取得成果を効果的に発信し、コース希望者の拡大を図る。</p> <p>イ・平成 25 年度導入の教育課程について総括し、次年度における指導に生かす。 ①1 年次において進路選択を視野に入れた科目選択ができているか。 ②1 年次履修 31 単位 (+1 単位) について総括し、次年度に生かす。</p> <p>(2) ア・英語・数学で習熟度別少人数展開授業を実施し、基礎学力の定着と高い学力の獲得をめざす。 ・年 2 回の教育産業学力診断を継続実施し、生徒対象のデータ分析会や面談を通して自己の成績状況と伸長の可能性を認識させ学習意欲の向上を図る。 ・教員対象のデータ分析会も実施し、サポート体制の充実を図る。 ・昨年導入した「進路カード」を活用し、生徒自身で学力変化等の把握をさせ、学習意欲の向上を図る。</p> <p>・充実してきた 1 年次からの講習体制を定着させる。 ・これまで個々の教員で企画実施してきた講習を進路実現のための必要かつ有効な講習として進路指導部と学年および各教科が連携した実施体制づくりを行う。</p>	<p>(1) ア・H28 ビジネス情報コース 選択者 30 名をめざす。</p> <p>イ・学校教育自己診断の「教育課程は、進路や興味に合った科目が選べる」の肯定意見の上昇をめざす。(H26 65%)</p> <p>(2) ア・教育産業学力診断における平均偏差値を昨年度比較で 2P 上昇をめざす。</p> <p>・生徒、教員対象のデータ分析会の肯定意見 65%以上をめざす。 ・学校教育自己診断新規項目 3 者による「進路カードは有効である」の肯定意見を把握し、課題検討を行い、今後の活用を生かす。</p> <p>・学校教育自己診断 「生徒の講習参加率」 H26 夏期講習参加率 1 年 19% } 5 P 上 2 年 29% } 3 年 35% } 「講習満足度」肯定意見 H26 65% → 5 P 上昇</p>	<p>ア 2 年時でのビジネス情報コース選択者 H27/11 名→H28/30 名・・・(○) ➡ 資格取得者増と授業満足度 H27 83.4%の数値向上と次年度選択者 30 名をめざす</p> <p>イ 学校教育自己診断「教育課程進路や興味に合った科目が選べる」77%・・・(◎) ➡ さらなる有効な教育課程の研究・検討を進める</p> <p>ア 平均偏差値 &lt;1 年&gt; 1.5P 上昇 &lt;2 年&gt; 0.5P 上昇・・・(△)</p> <p>・分析会肯定意見 生徒 51%・・・(△) 教員 65%・・・(○) ・「進路カードは有効である」肯定意見 生徒 48%・・・(△) 教員 58%・・・(△) 保護者 71%・・・(○) ➡ 進路カードのブラッシュアップと、よりよい利用方法を検討し、活用度増を図る</p> <p>・「生徒の講習参加率」 H27 夏期講習参加率 (のべ数) 1 年 111% 2 年 76% 3 年 113% ・・・(◎)</p> <p>・「講習満足度」 肯定意見 68%・・・(△) ➡ 進路指導部が生徒ニーズを捉え、各学年講習の充実を図る</p>
	<p>イ 授業力向上への取り組み</p>	<p>イ・全校的な授業力向上の取組みとして、授業力向上支援チームによる授業アンケート結果をふまえた各教科での検討を行い、授業アンケート数値の向上をめざす。</p> <p>・今年度も「泉大津高校のめざす授業」のモデル研究授業と振り返り研修を授業力向上支援チームで企画実施する。 ・授業力向上に向上に向けた個々の取組みとして教員相互の授業見学を行う。</p>	<p>イ・授業アンケート共通項目「興味・関心、知識・技能」の学校平均を昨年度より上回る。</p> <p>・生徒の授業満足度を 75%まで上げる。(H25 72%)</p> <p>・授業アンケート各教科数値を上昇させる。 H26 数値上昇教科数 1/9</p> <p>・モデル研究授業 年 2 回実施</p> <p>・相互授業見学 全教員 3 回以上</p>	<p>イ・「興味・関心」 H26/2.85→H27/2.97 「知識・技能」 H26/2.89→H27/3.01・・・(○)</p> <p>・授業満足度 H26/72%→H27/74.8%・・・(○)</p> <p>・授業アンケート数値上昇教科数(H26h 比)1→8・・・(○)</p> <p>・研究授業 ①7/15 ②11/10 実施 12 月フィードバック研修 研修満足度 86% ・・・(○)</p> <p>➡ 学校全体で授業力向上に向けた取組みをさらに推進及び自校版パッケージ研修の継続</p> <p>・相互授業見学・・・全教員 3 回以上実施 ・・・(○)</p>

2 自主性および規律ある生徒の育成	(1) 生徒会活動、部活動の活性化 ア・生徒会活動の活性化と自主性育成  イ・部活動の活性化 ・部活による中高連携の充実	(1) ア・体育祭、文化祭の運営を生徒会生徒が主体的にできるよう教員がサポートし、自主性を育む。 ・生徒会・各クラス委員が連携し、「あいさつ運動」を継続展開し、「あいさつのできる学校」をめざす。  イ・入部紹介プリント作成に工夫を凝らし、部活動加入率を上げる。 ・活動を通して近隣中学校との合同練習や試合を企画し、中学校との交流を活発化する。  ・夏季休暇中における部員生徒による中学校訪問の実施。	(1) ア・学校教育自己診断 生徒会活動 肯定意見上昇 (H26 48%) ・学校教育自己診断「あいさつ運動」肯定意見上昇 (H26 68%)  イ・1年生の部活動加入率を50%に上げる。(H26 45%)  ・地元中学校との連携について、種目、回数を増やす。(H26 7クラブ12回) ・H27における部員生徒による中学訪問数を把握し、H28における活動の拡大を図る。	ア・生徒会活動 肯定意見 48%・・・(△) ・「あいさつ運動」 肯定意見 70%・・・(○) ➡ 生徒会・教員とが一緒になってあいさつ運動を拡大 イ・1年生部活動加入率 45%・・・(△) ➡ 新入生歓迎会でのクラブ紹介の充実 翌日以降の体験入部キャンペーンの大規模実施とともに、保護者へ協力・理解を求める その他、生徒会が中心となり、入学時に部活動推進のための取組みを行う。 ・中学交流 10クラブ 29回・・・(◎) ・部員生徒による中学校訪問を実施したが、訪問数の把握ができず・・・(△)
	(2) 規範意識醸成のための生徒指導体制 ア 遅刻撲滅に向けた取り組み  イ マナー指導の徹底 ウ 集団行動の徹底	(2) ア・遅刻・頭髪・制服指導など3学年統一した指導基準で生徒と向き合う指導を通して生徒の規範意識の醸成と問題行動防止など生徒の学校生活を支援する。 ・昼休み巡回指導の必要性とその効果についての共通理解を図り、指導体制の充実を図る。 ・遅刻指導システムを定着させ、さらなる遅刻者数の減少を図る。  イ 自転車通学者のマナー指導を警察と連携して行う。  ウ 始・終業式、学年集会などにおいて、さらなる集合時間の短縮を図るとともに「聴く態度」の充実を図る。 避難訓練では、全員が安全かつ迅速に行動できるよう事前指導を徹底させる。	(2) ア・年間懲戒件数の減少。 ・年間遅刻総数減少をめざす。(H26 3747)  ・昼休み巡回指導教員増と1年間の継続。  イ 警察と連携し、学期に1回ずつ通学路指導週間を実施する。 ウ・集合時間の短縮 ・「聴く態度」・・・全校生徒が私語をせず、話す人に注目する。 ・避難訓練集合完了1分短縮をめざす。	ア・年間懲戒件数 昨年度と同件数・・・(△) ・年間遅刻総数 H26 3747人→H27 2505人 (前年比33.1%減)・・・(◎) ・昼休み巡回指導 継続実施 教員数増ならず・・・(△)  イ 通学路指導週間3回実施・・・(○) ウ ・全体集会等での落ち着いた、聞く姿勢が定着・・・(○) ・避難訓練集合完了時間 5月/7分37秒 ⇒ 9月/5分22秒 <2分15秒短縮>・・・(◎) エ 薬物乱用防止の取組み実施・・・(○) オ 「校内の美化に努めている」 肯定意見 70%以上・・・(○) ➡ 生徒が主体となった美化活動の推進
	(3) 教育相談体制の充実 ア 生徒情報の共有化とカウンセリングマインドの確立	(3) ア・教育相談研修やケース会議を実施し、知識の向上と情報の共有を図り、生徒支援を充実させる。	(3) ア・教員研修を各学期1回実施。生徒向け学校教育自己診断「担任以外に気軽に相談に乗ってくれる先生がいる。」の肯定意見の上昇 (H26 39%)	ア 学校教育自己診断「担任以外に気軽に相談に乗ってくれる先生がいる。」 肯定意見 57%・・・(○) ➡ 生徒と向き合う姿勢のさらなる醸成

<p>3 「志」や「夢」の実現に向けた指導計画の確立</p>	<p>(1) 総合教育の実施 ア 3年間の生徒育成プログラム</p> <p>イ 人権教育の推進</p> <p>(2) ア 個々の進路に応じた情報提供</p> <p>イ 就職に関する指導</p> <p>ウ 進学に関する指導</p> <p>エ 「高校生活支援カード」の活用</p>	<p>(1) ア 「総合的な学習の時間」について、これまでの実施内容をふまえて総合学習検討委員会が軸となり、学校目標達成に向けた3年間計画的な取組み内容を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度作成の「3年間トータルなキャリアプラン」のブラッシュアップを図るとともに、全教員でキャリアプランを共有し、実践することで進路実現に向けた学校づくりをさらに推進する。</li> <li>・生徒会主導の「あいさつ運動」にコミュニケーション力向上の観点から進路指導部がサポートし、生徒と教員が一体となった「あいさつ運動」の充実を図る。</li> </ul> <p>イ ・人権教育推進委員会で人権教育に関わる各学年の取組みを総括し、学校行事やクラスHRなどにおける3年間のトータルな人権教育プランを作成し、充実を図る。</p> <p>(2) ア ・個人進路指導カードを活用し、きめ細かな進路指導を実施し、モチベーションの高揚と進路目標の獲得を図り、実践につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員への個人進路カード活用の意識定着を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導室を移動し、さらに効果的な進路情報の提供を行うことで進路指導部が進路実現に向けての牽引的役割を果たし、各学年の進路指導の充実を図る。</li> <li>・旧進路指導室を「学校経営推進費」によりアクティブラーニングルームとして改修し、進路実現に向け就職・進学におけるサポート機能の充実を図る。</li> </ul> <p>イ ・就職主担を中心に就職希望者に指導や支援を行い、一次合格決定率上昇と就職内定率100%を維持する。</p> <p>ウ ・進路指導部主導で進学実現に向けた取組みの充実により自身の可能性実現の夢を抱かせ、挑戦する姿勢を育成し、チャレンジさせて合格する生徒を育てる。</p> <p>エ 「高校生活支援カード」について教育支援委員会と教育相談委員会とが連携し、適切な対応を行う。</p>	<p>(1) ア ・学校教育自己診断 新規項目 「総学時間の活用」 教員向け 肯定意見目標 70% 生徒向け。 肯定意見目標 60%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断 新規項目 教員向け キャリアプラン 肯定意見 70%</li> <li>・学校教育自己診断 生徒向け 「高校に入ってからあいさつするようになった」 68%→75%以上をめざす</li> <li>教員向け 「あいさつが増えた」 70%→80%をめざす</li> </ul> <p>イ ・学校教育自己診断 生徒向け 各学年の人権教育肯定意見の上昇 &lt;1年&gt;H26 68% &lt;2年&gt; " 78% &lt;3年&gt; " 65%</p> <p>ア ・1,2年次での質の高い進路目標の保有を図る。 &lt;1年&gt;H26 9月 72% &lt;2年&gt;H26 9月 99.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断 新規項目 教員向け 「個人進路カードの活用」 肯定意見 70%以上</li> <li>・学校教育自己診断 新規項目 「進路指導室の活用」 肯定意見 70%以上</li> <li>・アクティブラーニングルームの積極的活用 (設置初年度のため利用統計を取り、さらなる活用に向けた取組みを推進する)</li> <li>・活用により、下記「イ・ウ」の達成</li> </ul> <p>イ ・就職内定率を前年度同様の100%を維持する。</p> <p>ウ ・国公立大学、および難関私立大学、看護医療系学校への受験者と合格者を昨年度より増加させる。 (国公立、難関私立大学は計20名以上をめざす)</p> <p>エ 学校教育自己診断で「教育支援委員会の円滑で効果的な運用」について教員による肯定率60%以上。</p>	<p>ア ・学校教育自己診断 「総学時間の活用」 教員向け 肯定意見 74% 生徒向け。 肯定意見 68% ・・・(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断 新規項目 教員向け キャリアプラン 肯定意見 88%・・・(◎)</li> <li>・学校教育自己診断 生徒 「高校に入ってからあいさつするようになった」 70% ・・・(△)</li> <li>教員 「あいさつが増えた」 76% ・・・(△)</li> </ul> <p>➡ 生徒の主体的なあいさつの定着(あいさつ運動推進)</p> <p>イ 学校教育自己診断 各学年の人権教育肯定意見 &lt;1年&gt;H27 64.1% &lt;2年&gt; " 67.5% &lt;3年&gt; " 86.9% ・・・(△)</p> <p>➡ 計画的な人権教育を推進するために3年間のトータル人権教育プランを作成・周知し、計画的な人権教育を推進</p> <p>ア 進路目標保有率 &lt;1年&gt;H27 9月 72% &lt;2年&gt;H27 9月 84%・・・(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断 教員 「個人進路カードの活用」 肯定意見 48%以上・・・(△)</li> </ul> <p>➡ 教員の進路カードの活用から進路実現への意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路移設完了 ・・・(◎) 活用度は12/8移設により未把握</li> <li>・アクティブラーニングルーム 12/8設置後の利用人数のべ106人/43日間 ・・・(○)</li> </ul> <p>➡ 進路室・アクティブラーニングルームの利用者大幅増</p> <p>イ 就職内定率 12月末までに100%達成 ・・・(◎) ➡ 内定100%継続をめざす</p> <p>ウ ・難関私立大学受験者 123名 " 合格者 20名 (合格者 H24/5名→H25/13名→H26/15名) (1/21現在) ・・・(○) &lt;参考&gt;4年制大希望者増 29% → 33%</p> <p>エ 学校教育自己診断 「教育支援委員会の円滑で効果的な運用」 教員肯定率 78% ・・・(◎)</p>
--------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 府立泉大津高等学校

<p>4 地域への発信および広報活動の充実</p>	<p>中学校、保護者、教育関係者を中心に積極的な情報発信と広報活動の充実</p>	<p>・情報発信の充実 ①自校による円滑なHPの更新体制の構築 ②学校説明会申込みツールをHPに変更にするなど実施内容の充実を図る。 ・広報委員会による全校あがりの広報活動の充実とさらなる推進。 ・泉大津市近隣中高連絡協議会による中学との連携を深める取組みを継続して企画・推進し、府立高校理解と進学意欲を高める。</p>	<p>①HP更新回数 各部活動 月1回以上 ・平成28年度入学者選抜における志願者数の増加。 ・中高での授業交流 (指標：参加教員満足度70%以上) 中学への出前授業 (指標：中学生満足度70%以上) 部活交流</p>	<p>①部活動1か月毎に更新・・・(△) ➡部顧問の更新意識を高める ②学校説明会申込みをHPにて行う・・・(○) ・平成28年度入試志願者数376名・・・(△) ・中高での授業交流 H26 5名32講座 ⇒ H27 18名140講座 授業提供者の増加と交流についての教員の共通理解が進んだ(参加教員肯定率100%) ・・・(◎) 出前授業の中学生満足度88% ・・・(◎) ➡授業力向上と学校理解の拡大という目的を全教員で共有し、さらなる充実を図る</p>
-------------------------------	------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------